

オス

要注目



メス

要注目



環境省レッドリスト(2018) 準絶滅危惧(N_T)

頭部(横顔=頭頂~吻端)の形状は雌雄とも丸く、頭長は短い。尾柄高は低く、尾柄長は長い。

ドジョウ科 ドジョウ属

【全長】約18cm

ドジョウ (在来系)

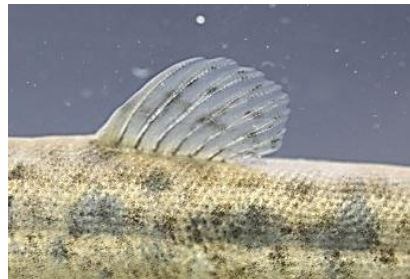
学名: *Misgurnus anguillicaudatus*(Japan)

分布域

本州・四国・九州に分布する。
北海道は移入とされる。

生息域

河川の中流~下流域や湿地・池
水田周辺などに広く生息する。



オスの背鰭の分枝軟条数は6本。

遺伝子の解析によってドジョウ(在来系)とされた個体群。体色は明茶褐色~灰褐色で、暗色斑紋が散在する。背面と腹面で比較的明瞭に体色が分かれる。横顔は頭頂から吻端にかけ、緩やかにカーブする。頭長は短く、眼は大きい。尾柄長は長く、尾柄高は低い。背鰭の分枝軟条数は6本。オスの胸鰭基底の骨質盤は斧状。生息環境は平野部の水田地帯、河川や排水路などの穏やかな流水域。水草や抽水植物が繁殖する砂泥底の環境を好む。生息数は多くないが広く生息する。

水槽での飼育は容易。水槽の環境や餌の配合飼料にも慣れる。性格も比較的温和で他種との混泳にも問題ない。

在来種

純淡水魚

※ この仲間は鰓呼吸・腸呼吸・皮膚呼吸が出来る特殊な特徴を持ち、身近な魚でありながら特殊な仲間(魚類)である。今後、分類もますます細分化されていく可能性がある。